

令和3年度第2回三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会議事録

1 開催日時 令和4年3月17日 14:00~16:00

2 開催場所 三重県津庁舎 6階 61会議室（オンライン開催）

3 出席者数 出席9名 欠席6名

4 内容〈事項〉

(1) ヘルプマークの普及・三重おもいやり駐車場利用証制度について

(2) 令和4年度当初予算案について

(3) 「第5次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画 2023-2026」について

(4) その他

5 概要

(1) ヘルプマークの普及・三重おもいやり駐車場利用証制度について

【委員意見】

・ヘルプマークの在庫が約8000枚あるが、作成に対し配布は有効にされているのか。
→・市町の窓口でも配布しており、市町の追加配布希望に応じられるよう、在庫を帳簿で管理しています。必要な分に届くように、今後も数の管理を適正にしていきたいと思います。

・在庫について、学校で配布し、実物を示すという活用方法も考えてはどうか。
→・そういう形の有効活用も考えていきたいと思います。

・特別支援学校や病院などで、普及するような活動をしてはどうか。
→・特別支援学校には配布をしていますが、ヘルプマークをつけたくないというかたもいるので、学校を通じて希望を聞きながら、必要な子どもたちにつけてもらう取組をしています。

・病院という発想は今までなかったので、配布の機会を作ればと思います。

・店舗、宿泊施設などに対し、おもいやり駐車場の設置場所について、県からアドバイスをしたりすることはないのか。
→・登録にあたっては、いろいろな相談を受けており、マークの意味から通路の関係などまで、丁寧に説明し、アドバイスをさせてもらっています。

・あるスーパーの屋上駐車場の車いす駐車区画が、エレベーターのある入口でなく、

エスカレーターの入口近くに設置されていた。そういう駐車区画を設置するときには、適切な場所をアドバイスしてもらえるところがあればいいと思った。

・観光庁で心のバリアフリー認定制度を進めており、私たちも認定のための1項目として、こういった駐車場が普及するようにしていきたい。

・近年、車の幅が大きくなってきており、駐車場の規格が追いついていない。その辺の根本設計を変えることで、しかたなくおもいやり駐車場を使っていた人が通常区画でもよくなり、おもいやり駐車場の有効活用ができるようになるのでは。

→・駐車場の区画幅について、国の指針はありますが、こうしなければいけないと決められたものはありません。幅の広い車が増えていけば、幅の広い区画が増えていくことになるとは思いますが、今の段階で、県で駐車場の幅を広げる基準を設定することは考えていません。

・利用者アンケートについて、利用証取得外の人にしたことはあるか。取得外の人はどういった価値観でこれを見ているのかというところも、調査するとまた違った角度から、発想が見えてくるのかと思う。

→・これまでに一度だけeモニターというインターネットを利用したアンケートを行ったことがありますが、質問数が限定されていて今は利用は厳しいと思います。日々、電話や手紙でいろいろな意見を頂いているなかで、制度の見直しなどを検討しているところです。

・ミライロという障害者手帳のアプリ化したものが広がりつつあるが、利用証とミライロの紐づけをするという発想はあるか。

→・今は申請の受付までの電子化を考えています。利用証の発行までは今は厳しいかと考えていますが、ミライロとの連携については電子化の取組の中で検討していきたいと思います。

(2) 令和4年度当初予算案について

【委員意見】

・UDタクシーを支援していくということだが、バリアフリーのバスはまだ100%ではなく、バスへの支援も検討頂きたい。

→・バスの支援についても頑張っていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。

・UDタクシーは回転シートはあるか。回転シートであれば、車いすでない高齢者にも乗りやすく、より安い車両が導入できるのでは。

→・回転シートの車両は国の福祉タクシー補助の対象とはなっていますが、今のUDタクシーについては回転シートのものは無く、今回の県の支援の対象ではありません。

せん。

- ・ 今後、セダン型では無く、UDタクシーがメインになるかもしれないが、車いすのまま乗りたい人ばかりでないので、いろんなタイプのタクシーが増えてくるのがよいと思う。
 - ・ UDタクシーへの乗り降りがしやすいタクシー乗り場の整備もしていただきたい。
 - ・ UDタクシーに限らず、ドライバーへの教育についてもやってほしいと思う。
 - ・ UDタクシーについては国の目標で令和7年度までに25%となっています。今のジャパンタクシーについては価格が高く、全てが入れ替わるというところまでは無いかと思っており、今後、ジャパンタクシー以外のタクシー専用車両も開発され、いろいろな車種がバランスよく配置されるようになることを期待しています。
 - ・ タクシー乗り場については、駅前広場だと市町の管理であることが多いですが、UD条例の審査などがあれば、そういった点にも配慮したいと思います。
 - ・ UDタクシーの導入を進める中で、ソフト面での運用、運転手への研修等も含めて、支援をできればと考えています。
-
- ・ タクシードライバーの研修の中には、外国人の方への対応といった観点も含めて頂きたい。
-
- ・ UDタクシーに筆談用メモ用紙の保管スペースというのがあるが、失語症の場合、読み書きも障害があり、話せないから書けるだろうという前提はよくない。
 - ・ タブレットにアプリを入れれば、記号やマークをタッチパネル式でコミュニケーションを取れる、コミュニケーションエイドというものが広がってきている。メモ用紙だけだと不十分であり、検討頂けるとありがたい。
-
- ・ バリアフリーや多言語対応の必要が多くなっているなかで、最終的には接客の部分が問題になってくる。ソフト面は重要であり、なにかそういったセミナーなどの機会があれば、(バス事業者としても)積極的に参加したい。
-
- ・ UDタクシーの導入促進について、補助でなく融資制度という方法もあると思う。
 - ・ 他のメーカーでは新しい開発は難しそうであり、トヨタの中で車種展開を期待したい。
 - ・ 乗り込んでから自分で回転させることができる円座を自分は使っている。UDタクシーを導入できなくても、そういった用品、備品とかで対応できることもある。

(3)「第5次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画 2023-2026」について

【委員意見】

- ・障害者差別解消法の改正で、合理的配慮が民間でも義務化されることになった。このことをPRするとともに、どのようにしていけばいいかということ、第5次推進計画で検討してほしい。
- ・令和4年の夏から秋頃に国から基本方針が示される予定であり、それを見てみんな協力していく方法を検討し、計画に盛り込めたらと思っています。

- ・「わかりやすい情報の提供ためのガイドライン」について、このような資料をみんなの目に留まるようにし、もっと手軽に手に入る方法を考えては。
- ・現状はホームページでダウンロードし利用していただくようにしており、県職員には年度当初に周知し、市町、県の研修時にも説明するようにしています。事業者向けには個別に説明する機会が無いので、発信方法についてはまた考えていきたいと思っています。
- ・UDフォントについて、県の文書や印刷物にできるだけ使ってもらうなどして、導入と啓発を進めていきたいと思っています。

- ・外国人住民への多言語の情報提供について、フォーム、枠、タイトルまでで内容が翻訳されていない。第4次計画の取組の進捗状況で例えば防災情報についてしたことになっているが、本当に進捗状況として認められるか検証が必要ではないか。
- ・検証について、ご意見を踏まえて何かできるか工夫していきます。

(以上)